

まちづくりテーマ 自然に寄り添い、暮らしと心を育む米川づくり

米川の魅力再発見【5つの提言】

【一緒にやりすべ米川！行動計画】平成26年版（平成26年～平成30年）

やるべきこと

◆その1

鱒淵小学校・古民家の有効活用



次の一手

- ・専門部会を設置して活用方法等の勉強を始める。
- ・チラシで広報を始める。

取り組み期間・平成30年にめざすところ

平成26年～28年

自然豊かな米川暮らしを満喫したいと思う人を受け入れて、米川住民との交流を深め、地域の活性化を図る。

◆その2

地域防災弱者の名簿作成



- ・自主防災組織、自治会、消防団など各関係団体との合意形成
- ・情報の共有化

平成26年4月～7月

高齢者や子ども、一人暮らしの方などの防災減災を目的として、相互扶助、見守りなどの地域力を生かすための名簿を作成して、活用を図る。

◆その3

協働による「米川ブランド」の開発



- ・米川生産森林組合を中心にやる気、興味ある人の勉強会開始。
- ・事業ごとのプロジェクトチームを作る。

平成26年～27年

米川生産森林組合と地域住民が協働して地域資源を活かした体験の場をつくり、受け入れを行う。そのための人材育成と、米川の「売り」をつくる。

◆その4

ゴミを捨てない、捨てさせない活動



- ・気づいた人がすぐに取り組む
- ・掲示板、広報などにポスターを貼るなどの啓蒙活動

今すぐ～継続する

ゴミの不法投棄があるので撲滅活動を行う。
・捨てられる可能性のある場所の情報共有
・整備活動（死角を作らない、整地、除草など）

◆その5

窓口を振興会にした観光事業開発



- ・関係団体や個人と会議の場をつくる。

平成26年～28年

米川の魅力を外に情報発信して、観光客を増やす。そのため魅力探しをはじめ、計画づくりをするために協議会を設置して2年計画を策定する。。